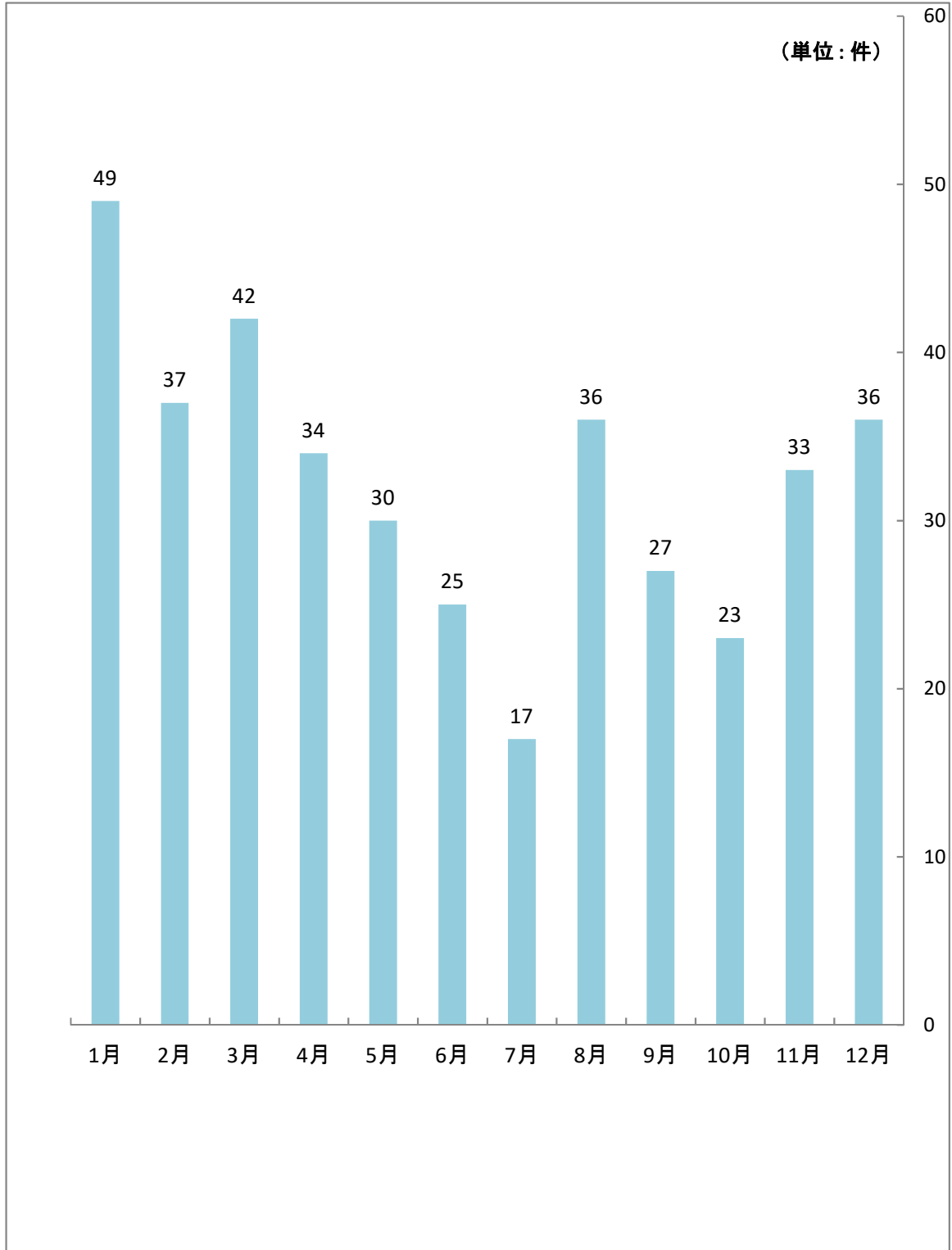


17. 保安及び災害

月別交通事故発生件数（令和3年）



1. 刑法犯発生件数

(単位：件)

年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
総数	1,166	1,046	895	730	734
凶悪犯	8	6	6	6	7
殺人	1	1	2	1	1
強盗	2	2	1	0	1
放火	1	1	1	1	1
強制性行等	4	2	2	4	4
粗暴犯	104	137	108	109	128
暴行	73	96	69	45	69
傷害	22	37	32	45	41
脅迫	8	3	3	16	14
恐喝	1	1	4	3	4
窃盗	824	697	609	469	439
知能犯	40	29	28	18	24
詐欺	33	25	17	11	20
横領	4	3	4	5	3
偽造	3	1	6	2	1
汚職	0	0	1	0	0
背任	0	0	0	0	0
風俗犯	20	21	6	7	14
賭博	0	0	0	0	0
わいせつ行為	20	21	6	7	14
その他の刑法犯	170	156	138	121	122

(注)1.本表は、帯広警察署管内(帯広市、音更町、幕別町、芽室町、上士幌町、士幌町、更別村、中札内村)についての数値。

以下2. 3. 4. 5. 6表についても同様。

(注)2.偽造の人員は、罪種の性格上、詐欺に含まれる。

<資料> 帯広警察署(生活安全課)

2. 不良行為少年補導人員数

(単位:人)

年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
総数	878	783	756	637	420
飲酒	81	52	68	52	22
喫煙	232	185	192	154	145
薬物乱用	0	1	0	0	0
刃物等所持	2	2	3	0	0
粗暴行為	86	59	46	55	5
金品不正要求	1	3	0	2	0
深夜徘徊	222	188	178	136	128
家出	34	30	14	19	22
無断外泊	12	13	7	1	4
不健全性行為	10	7	11	14	5
性的いたずら	0	0	2	0	0
不良交友	0	0	0	0	0
怠学	16	13	7	5	3
不健全娯楽	168	216	226	193	83
金品持出	9	1	2	5	1
暴走行為	5	13	0	1	2
その他	0	0	0	0	0

(注)表1のとおり、帯広警察署管内についての数値。

<資料> 帯広警察署(生活安全課)

3. 少年刑法検挙件数

(単位:件)

年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
総数	49	36	33	41	28
凶悪犯	0	0	1	1	0
粗暴犯	9	8	5	1	4
窃盗犯	34	24	19	35	18
知能犯	0	0	1	0	1
風俗犯	0	0	0	0	1
その他	6	4	7	4	4

(注)表1のとおり、帯広警察署管内についての数値。

<資料> 帯広警察署(生活安全課)

4. 月別交通事故発生数

(単位：件)

年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
総数	347	347	287	371	389
1月	36	19	18	19	49
2月	32	25	31	38	37
3月	32	32	18	28	42
4月	18	20	27	28	34
5月	24	20	16	26	30
6月	28	31	16	25	25
7月	23	32	26	29	17
8月	22	36	21	31	36
9月	27	22	25	43	27
10月	42	34	26	31	23
11月	26	43	28	32	33
12月	37	33	35	41	36

(注)表1のとおり、帯広警察署管内についての数値。

<資料> 帯広警察署(交通課)

5. 違反別交通事故発生数

(単位：件)

年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
総数	347	347	287	371	389
酒酔い運転	0	0	1	0	1
信号無視	32	18	23	25	38
通行区分違反	0	1	1	1	1
横断等禁止違反	0	0	0	3	1
車間距離不保持	0	0	0	0	1
追越し違反	0	0	0	0	0
踏切通行違反	0	0	0	0	0
左右折違反	0	0	1	4	1
横断歩行者等妨害等	5	11	14	16	11
徐行違反	0	1	0	2	0
一時停止違反	33	27	24	49	54
過労運転	0	0	0	0	0
最高速度違反	0	0	0	1	0
交差点安全通行違反	13	19	8	15	17
通行禁止違反	0	0	0	0	0
安全運転義務違反	250	250	190	229	227
その他	14	19	23	23	35
酒気帯び運転(内数)	(5)	(1)	(1)	(4)	(4)
無免許運転(内数)	(0)	(0)	(1)	(3)	(1)
歩行者側の違反	0	1	2	3	2

(注)1.表1のとおり、帯広警察署管内についての数値。

(注)2.酒気帯び運転、無免許運転数は内数。

<資料> 帯広警察署(交通課)

6. 年齢別死傷者数(交通事故による)

(単位:人)

年		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
総数	死者	5	3	4	6	7
	傷者	379	389	317	419	442
3歳未満	死者	0	0	0	0	0
	傷者	1	1	1	4	1
3～5歳	死者	0	0	0	0	0
	傷者	3	1	1	3	0
6～12歳	死者	0	0	0	0	0
	傷者	9	5	9	10	10
13～15歳	死者	0	0	0	0	0
	傷者	9	9	5	13	11
16～19歳	死者	0	0	0	2	0
	傷者	21	25	12	27	26
20～29歳	死者	0	0	0	0	0
	傷者	64	58	59	57	68
30～39歳	死者	0	1	0	0	0
	傷者	88	72	52	76	92
40～49歳	死者	2	0	0	0	1
	傷者	88	79	76	90	78
50～59歳	死者	1	0	0	0	0
	傷者	46	67	43	65	69
60～69歳	死者	1	0	1	0	1
	傷者	36	38	27	34	41
70歳以上	死者	1	2	3	4	5
	傷者	14	34	32	40	46

(注)表1のとおり、帯広警察署管内についての数値。

<資料> 帯広警察署(交通課)

7. 火災概況

年	発 生 件 数 (件)						焼損棟数 (棟)	り災世帯数 (世帯)	死傷者(人)		建物焼損 面積(m ²)	損 害 額 (千円)
	総 数	建 物	車 両	林 野	そ の 他	爆 発			死 者	傷 者		
平成												
29	32	23	2	-	7	-	27	18	2	6	556	231,446
30	33	24	4	-	5	-	32	20	1	6	630	47,650
令和												
元	49	31	4	1	13	-	38	22	2	3	1,083	35,498
2	32	23	3	-	6	-	37	17	4	8	1,424	68,762
3	44	27	7	2	8	-	34	18	3	3	761	40,322

<資料> とかち広域消防事務組合

(注)表の値は各年末時点での速報値。

8. 原因別火災発生件数

(単位: 件)

年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
総 件 数	32	33	49	32	44
たばこ	4	2	1	5	3
風呂	1	5	2	1	3
風呂かまど	-	-	1	-	1
炉	-	-	-	-	-
焼却炉	1	3	-	-	1
ストーブ	6	3	6	3	1
ボイラー	-	-	-	-	-
煙突・煙道	-	-	2	1	1
排気管	2	-	-	-	1
電気機器	-	3	1	-	2
電気装置	-	-	-	-	-
電灯電話等の配線	1	2	1	3	3
内燃機関	-	-	-	-	-
配線器具	-	-	1	-	2
火遊び	-	-	1	-	-
マッチライター	1	1	-	1	-
たき火	-	-	-	-	-
溶接機切断機	1	2	-	-	-
灯	-	-	-	-	-
衝突の火花	-	-	-	-	-
取入れ	-	-	-	-	1
火	3	-	-	-	1
放火の疑い	1	3	1	3	-
放火の疑い	-	-	1	-	1
その他	8	-	14	9	15
不明調査中	3	9	17	6	8

<資料> とかち広域消防事務組合

(注)表の値は各年末時点での速報値。

9. 火災種別・建物用途別火災発生件数

(単位：件)

年		平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
建物火災		23	24	31	23	27
住宅	専用住宅	8	8	11	14	11
	併用住宅	3	-	-	-	-
	共同住宅	4	8	6	2	4
事業所等	劇場・集会場	-	-	-	-	-
	遊技場	-	-	-	-	-
	飲食店	-	1	4	-	-
	物品販売店	-	-	1	-	-
	旅館・ホテル	-	-	-	-	2
	病院・福祉施設	-	-	1	-	-
	学校	-	-	-	-	-
	工場・作業所	2	1	2	1	3
	駐車場	-	1	1	-	-
	倉庫	3	2	2	5	3
	事務所	2	-	1	1	3
	複合用途	1	3	2	-	-
	その他	-	-	-	-	1
車両火災		2	4	4	3	7
林野火災		-	-	1	-	2
その他火災		7	5	13	6	8
爆発発生		-	-	-	-	-
総件数		32	33	49	32	44

<資料> とかち広域消防事務組合

(注)表の値は各年末時点での速報値。

10. 救急出動件数

(単位：件)

年	総数	交通	急病	一般	労災	自損	運動	加害	水難	火災	その他	自然災害
平成												
29	7,441	387	4,645	1,199	42	61	60	31	5	42	969	-
30	7,630	417	4,775	1,147	57	76	60	21	2	48	1,027	-
令和												
元	7,801	381	4,896	1,181	69	93	72	26	1	62	1,020	-
2	6,934	344	4,283	1,070	57	84	30	28	3	33	1,002	-
3	7,388	368	4,586	1,133	68	88	54	19	2	46	1,024	-

<資料> とかち広域消防事務組合

(注)表の値は各年末時点での速報値。

11. 近年の主な災害発生記録

(1) 地震

年 月 日	震 央	規 模 <small>(単位:マグニチュード)</small>	被 害 状 況
昭和27年 3月4日	十勝沖	8.2	十勝沖地震。震源地は襟裳岬沖70km。十勝管内罹災戸数9,507戸、罹災者数53,911人、死者5人、重軽傷者数363人などの被害。
平成 5年 1月15日	釧路沖	7.8	20時06分発生。釧路市強震、帯広市中震。道東を中心に鉄道、通信被害。津波による港湾施設に被害。災害対策本部設置。
平成15年 9月26日	十勝沖	8.0	4時50分発生。幕別町・釧路町など震度6弱。帯広市震度5強。行方不明者2人、負傷者847人、全壊116棟、半壊368棟などの被害。
平成16年11月29日	釧路沖	7.1	3時32分発生。弟子屈町・釧路町・別海町震度5強。帯広市震度4。負傷者52人、住家一部破損4棟などの被害。
平成16年12月6日	釧路沖	6.9	23時15分発生。厚岸町震度5強。帯広市震度3。負傷者12人、校舎一部損壊などの被害。
平成17年 1月18日	釧路沖	6.4	23時9分発生。厚岸町震度5強。帯広市震度3。負傷者1人、校舎一部損壊などの被害。
平成17年 8月16日	宮城県沖	7.2	11時46分発生。宮城県震度6弱。帯広市震度3。負傷者100人、住家全壊1棟、住家一部破損984棟などの被害。
平成20年 7月24日	岩手県北部	6.8	0時26分発生。八戸市などで震度6弱。帯広市震度3。死者1人、負傷者211人、住家全壊1棟、住家一部破損379棟などの被害。
平成20年 9月11日	十勝沖	7.1	9時20分発生。浦幌町、大樹町などで震度5弱。帯広市震度4。
平成23年 3月9日	三陸沖	7.3	11時45分発生。宮城県震度5弱。帯広市震度3。負傷者2人、住家一部破損1棟などの被害。
平成23年 3月11日	三陸沖	9.0	14時46分発生。2011年東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)。栗原市震度7。帯広市震度4。死者、行方不明者計18,500人以上、負傷者6,000人以上、住家全壊120,000棟以上。10m超の大津波が発生し、北海道～四国の太平洋沿岸に押し寄せ甚大な被害。
平成23年 4月11日	宮城県沖	7.2	23時32分発生。仙台市などで震度6強。帯広市震度3。死者4人、負傷者296人などの被害。
平成23年 11月24日	浦河沖	6.2	19時25分発生。浦河町震度5弱。帯広市震度3。
平成24年 12月7日	十勝沖	7.4	17時18分発生。関東、東北の太平洋側で震度5弱。帯広市震度3。死者1人、負傷者15人。
平成25年 2月2日	十勝地方中部	6.4	23時17分発生。浦幌町震度5強、帯広市震度5弱。負傷者1人。
平成30年 9月6日	胆振地方中東部	6.7	3時7分発生。平成30年北海道胆振東部地震。厚真町震度7、帯広市震度4。死者42人、負傷者762人。(平成31年1月16日現在)国内で初めて大規模停電(ブラックアウト)が発生し、道内全域297万戸が停電。帯広市では災害対策本部を設置し、市内12ヶ所に一次休憩所を開設。

<資料>(市)危機対策課

(2) 風 害

年 月 日	被 害 状 況
平成14年10月1日～2日	帯広市の最大瞬間風速32.3m/s。街路樹、防風林倒木、農業施設などの被害。
平成16年 4月21日	帯広市の最大瞬間風速27.0m/s。民家屋根トタン剥離、街路樹、公園樹木倒木などの被害。
平成16年9月7日～8日	帯広市の最大瞬間風速20.5m/s。街路樹、公園樹木倒木、農業施設などの被害。
平成18年 3月20日	帯広市の最大瞬間風速27.3m/s。街路灯倒壊1件、倒木・枝折れ2件などの被害。
平成20年 5月11日	帯広市の最大瞬間風速8.8m/s。桜まつりの会場内で局地的に突風が発生。1名軽傷。
令和3年12月1日～2日	帯広市の最大瞬間風速19.6m/s。街路樹や公園樹木等倒木、農業施設などの被害。郊外中心に約2,150戸停電。2名軽傷。災害対策本部設置。市内3カ所の避難所開設。

(3) 水 害

年 月 日	被 害 状 況
平成10年9月15日～16日	帯広市の総雨量120mm。管内南部を中心に総雨量300mmを超えた。浸水、山がけ崩れの被害。災害対策本部設置。
平成18年 6月24日	帯広市の総雨量25mm。路面崩落により市道通行止等の被害。
平成23年9月1日～8日	帯広市の総雨量128mm。十勝川洪水予報発表。内水氾濫、高速道路道東自動車道、国道、道道の通行止やJR等交通機関の運休。
平成28年8月30日～31日	8月17日～23日に3つの台風(7号、11号、9号)が北海道に上陸。30日から31日にかけて北海道に接近した台風10号の影響による大雨。29日～31日の3日間の雨量は、帯広測候所で129.5mmであったが、市内山間部では500mm以上を記録し、中島町で戸蔭別川氾濫。市街地では木賊原樋門周辺での内水氾濫、バラト地区での地下水上昇による冠水。住家被害は床上浸水3棟、床下浸水24棟。十勝川・札内川の河川敷の運動施設冠水。畑の冠水447ha。橋梁崩落2橋。道路被災35箇所。その他倒木被害等多数。災害対策本部設置。札内川沿い、十勝川沿いに避難勧告発令。市内20箇所の避難所開設。十勝19市町村に災害救助法適用。激甚災害指定。

(4) 雪 害

年 月 日	被 害 状 況
平成 3年 1月18日	帯広市の日降雪量92cm。1月の日降雪量としては帯広測候所開設以来の記録。交通機関まひ。
平成12年1月7日～13日	帯広市の7日降雪量44cm、10日降雪量29cm、13日降雪量11cmの大雪。災害対策本部設置。
平成18年 3月30日	帯広市の降雪量38cm。湿った大雪により、農業施設8件などの被害。道路は国道4路線、道道1路線、高速2路線が通行止。JRは普通列車7本が運休、特急遅延。航空機は帯広発着の11便が欠航。
平成30年 3月1日	帯広市の降雪量47cm。急速に発達した低気圧が接近した影響で大雪となり、牧草を保管していた農舎が倒壊するなどの農業被害。道路は、国道3路線、高速3路線が通行止め。JRは特急11本を含む46本が運休。航空機は10便が欠航。市役所11階を休憩所として開放。また、3月8日から9日にかけては一変して大雨となり、1日の大雪とも相まって被害が拡大。管内各地では、河川の増水のほか雪崩や冠水による通行止め、JRも運休。帯広市内でも事業所の床上浸水4件などの被害が発生。

(注) 帯広市地域防災計画に記載しているものから、①人的、物的に大きな被害の出たもの、②災害対策本部を設置したもの、③震度、降水量など記録的なもの、など特筆すべきものを抜粋して記載する。

<資料> (市)危機対策課